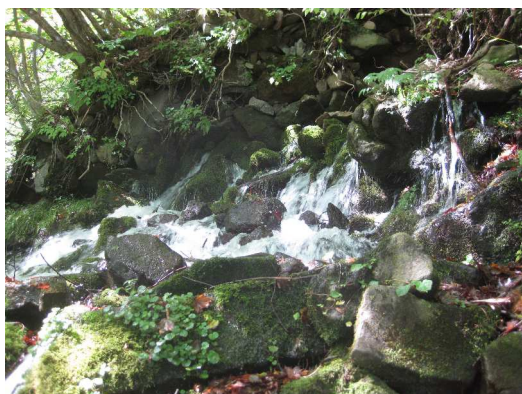


川崎町の資源をいかす会 事務局だより

NPO法人 川崎町の資源をいかす会

第42号（平成29年11月発行 不定期）

水源地探訪と白炭窯の見学会報告



去る10月1日（日）数年振りで水源地探訪体験を実施することができました。ここ数年間毎回開催当日は雨の為、中止をして参りました。昨年は9月に延期をいたしました再度台風に見舞われ中止となったわけです。今回は素晴らしい晴天の下で実施することができ、参加者の皆さんは大変満足されて様子でした。

水源地を訪れた後はこの夏（8月2日～4日）に移築した雁戸白炭窯に移動し芋煮を食べながら昼食をとりました。追木今朝善さんの好意で提供いただいた、イノシシのバーベキューもメニューに加わり、大変おいしくいただきました。参加者は11名で、また来年も象が沢へ行きたいとの声もありました。なお、近く白炭窯に屋根掛けをしますので、大工仕事の得意な方は是非お手伝いをお願いします。



日程が決まり次第メールでご連絡いたします。メールをご利用でない方は事務局まで電話を頂ければ連絡いたします。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

チェーンソーの安全な使い方講習会と芋煮会



久矩雄氏を講師に迎え開催いたしました。参加者は28名（内お子さん3名）と大変好評で昼食には芋煮とクロモジのハーブティーも用意されました。

「日頃、自己流で行っていたチェーンソーの手入れなどを知ることができた。」また、「杉の木を伐倒した後、正しい枝の払い方を教えていただき、杉材の価値を



高めることになる。」など、大変勉強になったとの参加者の意見が聞けた。

今後は1月に安全な伐倒講習会が予定されていますので、是非参加いただければと思います。

薪購入価格の改正

これまでは「川崎—仙台薪ストーブの会」の活動に参加されている方と、されていない方でも同じ値段で薪の販売を行っていましたが、先の定例会及び総会で会員同士議論した結果、不公平感を是正するため下記のように改正することになりました。キモチ(活動に参加された方が受け取る)で購入する場合は、従来通りですが、現金で清算される分の薪代は下記のようになります。また、薪棚が車の停車位置から遠い方には手数料をいただいていたのですが、配達後、本来は受け取った方が自分の薪棚に運ぶことになっていましたが、ほとんどは配達した方が薪棚に運んでいます。下記のように改正することになりましたので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、軽トラでは1 m³の配達は積載オーバーとの指摘がありましたので中止します。

種類	サイズ	きもち	きもち 価格 改定前	現金(円) 価格 (改定後)	改定後とは、 29年10月以降
玉切り材	0.05 空m ³	1	400	600	
玉切り材	0.75 空m ³ 軽トラ1台	15	6,000	9,000	
針葉樹 薪	0.05 空m ³	1	400	600	
針葉樹 薪	0.75 空m ³ 軽トラ1台	15	6,000	9,000	
広葉樹 薪	0.02 空5 m ³ 1束	1	400	600	
広葉樹 薪	0.75 空m ³ 軽トラ1台	30	12,000	18,000	
原木キノコ ホダギ	80 cm 玉切り材 1本に付	0.5	200	250	
焚付け用薪(小枝)	0.75 空m ³ 軽トラ1台	10	4,000	6,000	
チップ	1袋	1	400	600	(ガーデニング用)
配達料	川崎町内		1,500円		配達先の薪積の場合 1,000円加算
	30 km以内		3,000円		配達先の薪積の場合 1,000円加算
	31 km以上 (但し 30 km以上の場合は配達できない場合もあります。)		5,000円		薪積はサービス

薪の量の目安	縦	横	長さ	薪の量
玉切り材 (1キモチ分)	25 cm	25 cm	80 cm	0.05 空m ³
玉切り材 (1キモチ分)	35 cm	35 cm	40 cm	0.05 空m ³
針葉樹 (1キモチ分)	35 cm	35 cm	40 cm	0.05 空m ³
広葉樹 (1キモチ分)	25 cm	25 cm	40 cm	0.025 空m ³
黄色のコンテナで薪を計量する場合				
薪を縦に積んだ場合	47 cm	33 cm	40 cm	(2, 5キモチ分) 0.062
薪を横に平積した場合	40 cm	33 cm	38 cm	(2キモチ分) 0.05



*玉切り材は上記薪の量でキモチは半分になります。

*左の写真はコンテナに入れて計量した場合の参考です。

ケース底が33 cm幅×40 cmの薪を×高さ約38 cm積み上げたので約0.05 空m³

*これを縦積みになるとケースよりはみ出るため、薪は2.5キモチになります。
*下記の写真参考

*薪一束とは直径約30 cmで
すと、半径15 cm×15 cm×40
cm×3.15=約0.025

*玉切り材は丸太の場合は直径

約20 cmの丸太4本ですと半径10 cm×10 cm×40 cm×3.15×
4本=約0.5 m³ 1キモチです。

*会の活動は自己責任で行っていますので、薪を持ち帰る場合
も正確に計測くださるようお願いいたします。

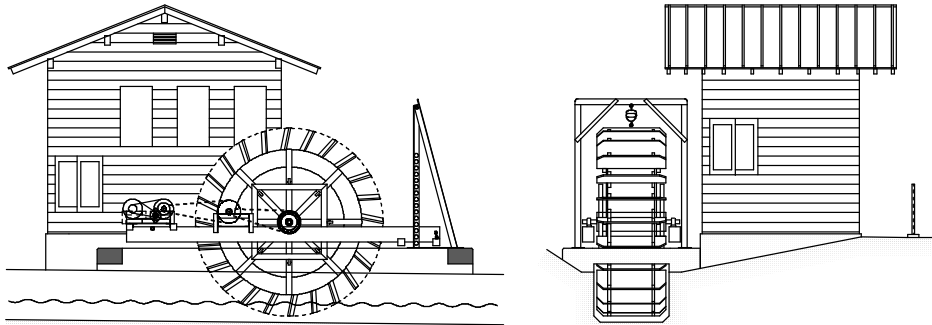


「いかす会ミニ水力基金」設置のご案内と報告

当会は、前号で「ミニ水力発電所建設基金」の設置をお知らせいたしました。これは、100年後には『食とエネルギーの100%自給』を掲げて、化石燃料に頼らない生活に向けた活動を続けて、2011年には東日本大震災を経験し、それ以来、自然豊かな川崎町の小川や用水路など、環境に負荷をかけないクリーンで再生可能なエネルギーの活用に取り組んでいました。そして、2013年には川崎病院近くの蟹沢用水路に第1号発電所（川崎町北原発電所：出力270W）を設置し、森林組合と「ぱびハウス」の防犯灯を灯しております。また年末年始はイルミネーションを点灯し、川崎町の風物詩として町民に親しまれております。

今後、売電できる規模の発電所を建設し、電気エネルギーの自給率を少しでも高めることを目指しますが、発電と同時に観光資源の一つになればとも考え、水車を生活圏の中に溶け込んだ観光スポット（水車めぐりや水車で挽いた川崎産のそばの提供など）としても整備する計画です。現在、第2号発電所（粉挽き水車兼用）設置に向けて、川崎町と地域協議会を立ち上げ、現在申請中の宮城県のエコタウンに関する補助金活用して、計画を進めております。この基金を6月下旬からスタートして、会員ほか広く賛同者を募った所、現在約150万円の寄付金が集まりました。補助金が採択されれば2/3が助成されるので年度内は200万円ほどの自己資金が必要となる為、50万円が不足となる為、今後もより多くご協力賜りますようお願い申し上げます。

基金の概要

基金の名称	特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会ミニ水力発電所建設基金 略称「いかす会ミニ水力基金」	
基金の目的	再生可能エネルギーを活用した水車のある町づくりを推進することを目的に、水車建設の資金として	
募集金額	1口1,000円 募集目標金額5百万円（水車設置工事費相当額）	
募集期間	第二次募集 2017年10月1日～2017年12月31日	
第2号発電所 計画概要		<ul style="list-style-type: none"> ・水車の直径3.1m ・発電最大0.42kw ・挽き臼：1基（そば粉用） ・搗き臼：1基（精米、製粉）
申し込み	いかす会事務局 電話・FAX 0224-87-2270 Mail: k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp HP: https://www.kawasaki-shigen.jp/	
振込口座	七十七銀行 川崎支店 普通預金 口座番号5002405 名義「いかす会ミニ水力基金」 ゆうちょ銀行 振替座番号02250-8-122323 名義「いかす会ミニ水力基金」	

平成29年度 釜房ダム周辺の清掃活動と桜並木のツル切実施報告

川崎町の資源をいかす会のエネルギー部会では、毎年「ゴミも活かすグループ」が中心になって、川崎町をゴミの少ない町・ゴミを大切に作る町にするため、そして、少しでも釜房湖の水質浄化に寄与すべく、下流域の住民と一緒に釜房ダム周辺の清掃活動を行なっております。

今年度は6月24日（土）午前10時から、釜房ダム周辺のゴミ拾いを行いました。参加者は、会員のほか東北大学漕艇部の皆さんと川崎町社会福祉協議会のみなさま、そして今年度は東京からの参加者もあり、たくさんのご協力をいただきました。参加者は55名でした。

また、一昨年からは湖畔の景観UPを目的に、桜並木のツル切と下草刈りを行なっておりますが、今年も清掃活動のあと、会員有志で、前川右岸町道沿いの桜並木に絡まったツル切りと下草刈りを行いました。

なお、ツル切りは7月1日（土）・2日（日）にも実施しました。今後も機会を見つけ、桜並木の手入れを続けていきたいと考えています。皆様もご協力よろしくお願ひします。

写真は参加者の集合写真とみんなが拾ったごみを軽トラックで回収している様子。

拾ってきたごみを分別しているところです。最後の写真は桜並木の周辺を刈り払いしているところで、その後桜の木に絡まったツル切も行っています。



原木キノコ植菌体験のご案内

私たちは、里山を再生することを目的に、放置していた雑木林に入り伐採を始めて、10年が過ぎました。すでに萌芽更新して森林は再生され、徐々にその成果も表れています。伐採された広葉樹は白炭に、原木栽培のキノコのホダ木・薪ストーブの薪として利用し、資源を大切に活用しています。

今回は原木にシイタケを中心に多種類のキノコの植菌をしたいと思います。

少し収穫までは時間が掛りますが、原木栽培のキノコはとておいしく食べることができます。スーパーマーケットで購入する菌床栽培のキノコとは一味も二味も違います。今回、山から運び出して準備してある原木に、ドリルで穴をあけ、穴に菌を植え込む作業を体験します。皆さんも自分の手で自分専用の本物のキノコを作ってみませんか！！

記

日 時 平成29年12月3日(日) 午前9時30分から12時頃

集合場所 腹帯集落センター 川崎町大字前川字松葉森山

会 費 大人一人につき 1,600円(植菌済みの原木2本持ち帰り)

子供中学生まで 800円(植菌済みの原木1本持ち帰り)

会員の場合は地域通貨(4キモチ)が利用できます。

定 員 20名(定員に達したら締め切。但し、参加者が10名に満たない場合は中止の場合もあります。)

申込み・問い合わせ先 特定非営利活動法人 川崎町の資源をいかす会

〒989-1501 川崎町大字前川字六方山3-225 電話&FAX 0224-87-2270

eメール k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp

お申し込みの際は、原木準備の都合もありますので、氏名、連絡先 人数(大人〇人。子供〇人)を明記ください。なお、所定の本数以上に希望がある場合も申し込みの際その旨記載ください。1本につき1,000円でお付けします。なお、申込期限は11月25日(土)です。